国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release

令和 8 年 11 月 10 日
国土交通省関東地方整備局
道路部

『台風第 25 号に伴う千葉県交通マネジメント検討会』開催結果

本日開催した第 5 回「台風第 25 号に伴う千葉県交通マネジメント検討会」の開催結果についてお知らせします。

台風第 25 号に伴う豪雨により、国道１２７号元名区間、県道６７号生実本納線等について道路通行止めを実施しています。また、運休していたＪＲ内房線について、１１月８日から全線で運行が再開されたところです。

このため、本日、学識経験者、国土交通省、県、警察、NEXCO 東日本、県トラック協会・バス協会・タクシー協会、日本道路交通情報センター等で構成される「台風第 25 号に伴う千葉県交通マネジメント検討会」を開催しました。

第 5 回の開催結果概要は別紙 1 のとおりです。

＜発表記者クラブ＞　竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、千葉市政記者会

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局　道路部
電話：０４８-６００-１３４２　　FAX：０４８-６００-１３８５
道路計画第二課長　　小田桐（おだぎり）（内線：４２５１）
課長補佐　　久保田（くぼた）　（内線：４２５３）

（別紙１）

＜開催結果概要の報告＞

（１）ＪＲ内房線一部区間（姉ケ崎駅～長浦駅間）

国道１６号の交通状況など情報提供の継続実施

○ＪＲ内房線と並行する国道１６号では、ＪＲ内房線運休中の７時台上り方向において、袖ケ浦駅付近から姉ケ崎駅付近までの所要時間が、平常時の約２０分に対し最大約８０分となっていた。ＪＲ内房線再開後の１１月９日（月）には、同区間の所要時間は約２０分となり、交通状況が概ね平常時の水準まで回復したことを確認した。

○引き続き、国道１６号等の交通状況をモニタリングし、交通状況等の情報提供を実施することを確認した。

シェアサイクルの利用状況

○シェアサイクルについては、１０月１４日から１１月９日の間、概ね３００台／日（平日のみ、雨天除く）、累計約６、０００台が利用された。

○シェアサイクルの利用者向けのアンケート結果によると、多くがＪＲ内房線の運休に伴う移動の代替手段として利用し、「平日の朝、代行バスを待たずに済んだ」「移動時間を予測することができた」「移動の選択肢が増えた」等のシェアサイクルのメリットを感じた意見があり、鉄道運休中の移動を支える代替交通の実証として効果的な取り組みであることを確認した。

（２）その他

○国道 127 号元名区間と県道 67 号生実本納線(誉田 IC～大木戸 IC)は、復旧に時間を要する見込みであり、引き続き、迂回路への案内や周辺の交通状況等について、関係機関のＨＰ、ＳＮＳ等により、広く情報発信を実施することを確認した。

○今後も関係機関と連携し、必要に応じて交通マネジメントを実施していくことを確認した。

台風第25号に伴う千葉県交通マネジメント検討会　委員名簿

赤羽　弘和　千葉工業大学　創造工学部　教授

桑原　雅夫　東京大学名誉教授，東北大学名誉教授，日本大学客員教授

千葉県警察本部　交通部　交通規制課長

千葉県　総合企画部　交通計画課長

千葉県　県土整備部　道路計画課長

千葉県　県土整備部　道路環境課長

千葉市　建設局　土木部　土木管理課長

国土交通省関東地方整備局　道路部　道路計画第二課長

国土交通省関東地方整備局　道路部　地域道路課長

国土交通省関東地方整備局　千葉国道事務所　副所長

国土交通省関東地方整備局　首都国道事務所　副所長

国土交通省関東運輸局　総務部　安全防災・危機管理課長

東日本高速道路株式会社　関東支社　総合企画部 総合企画課長

千葉県トラック協会　専務理事

千葉県バス協会　専務理事

千葉県タクシー協会　専務理事

日本道路交通情報センター　東京事務所　次長

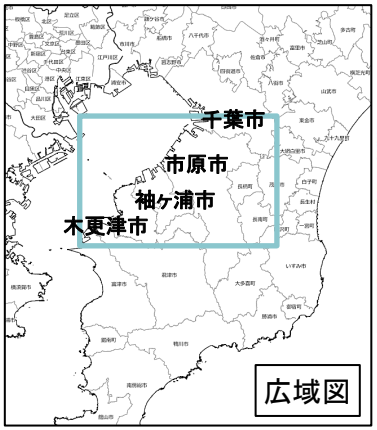
※関係機関に要請し追加する場合もある。

※今回、国土交通省関東運輸局鉄道部監理課、ＪＲ東日本、千葉県警察本部交通部交通総務課、市原市、袖ヶ浦市、OpenStreet㈱、シナネンモビリティPLUS(株)が参加。

JR内房線一部区間（姉ケ崎駅～長浦駅）

国土交通省
関東地方整備局

○台風第25号に伴う豪雨により、JR内房線姉ケ崎駅～長浦駅間において運転を見合わせ。
○復旧作業の長期化が見込まれるため、10月5日より開始した代行バス輸送に加えて、10月14日から11月9日までの期間でシェアサイクルを実施。
○11月8日（日）よりJR内房線姉ケ崎駅～長浦駅間の運転が再開。
○引き続き、平行する国道16号等の交通状況をモニタリングし、交通状況等の情報提供を実施。



11月10日時点



出典：国土地理院地図を加工して使用

国道16号（姉ヶ崎駅～袖ヶ浦駅間）の所要時間比較

国土交通省
関東地方整備局

11月10日時点

〇11月8日（日）よりJR内房線の姉ケ崎駅～長浦駅間の運転が再開。
〇JR内房線と平行する国道16号では、JR内房線運休中は平常時と比較して時間を要していたが、JR内房線再開後の11月9日（月）の所要時間は平常時と同程度。

速度の比較

【豪雨前】 旅行速度図【9/17(木)7時台】



出典：国土地理院地図を加工して使用

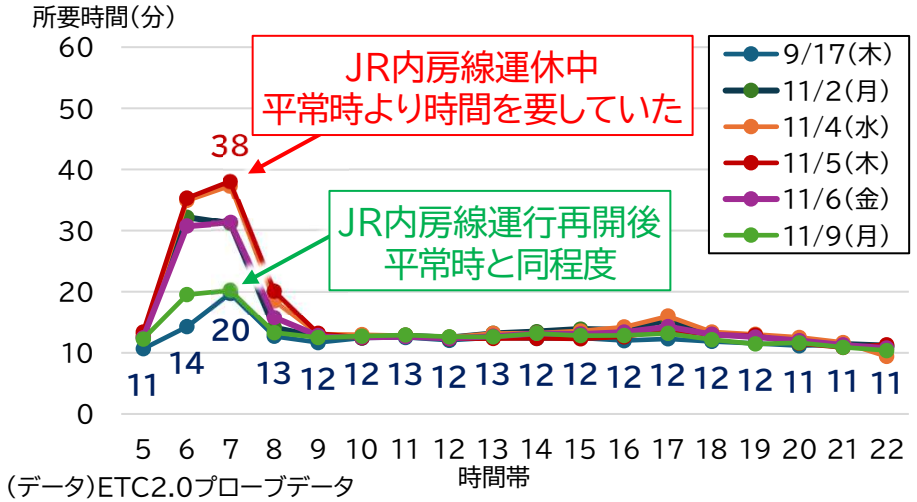
旅行速度図【11/9(月)7時台】



出典：国土地理院地図を加工して使用

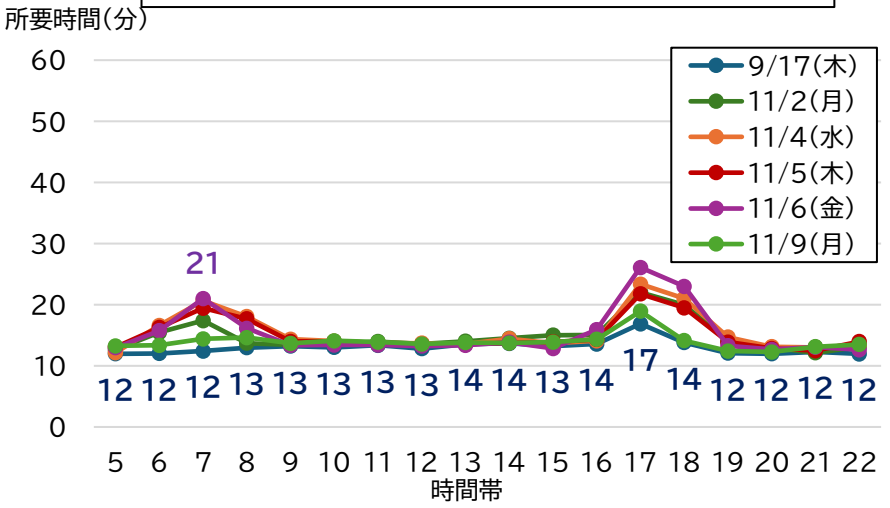
所要時間の比較

（国道16号上り）袖ヶ浦駅付近⇒姉ヶ崎駅付近



（データ）ETC2.0プローブデータ

（国道16号下り）姉ヶ崎駅付近⇒袖ヶ浦駅付近

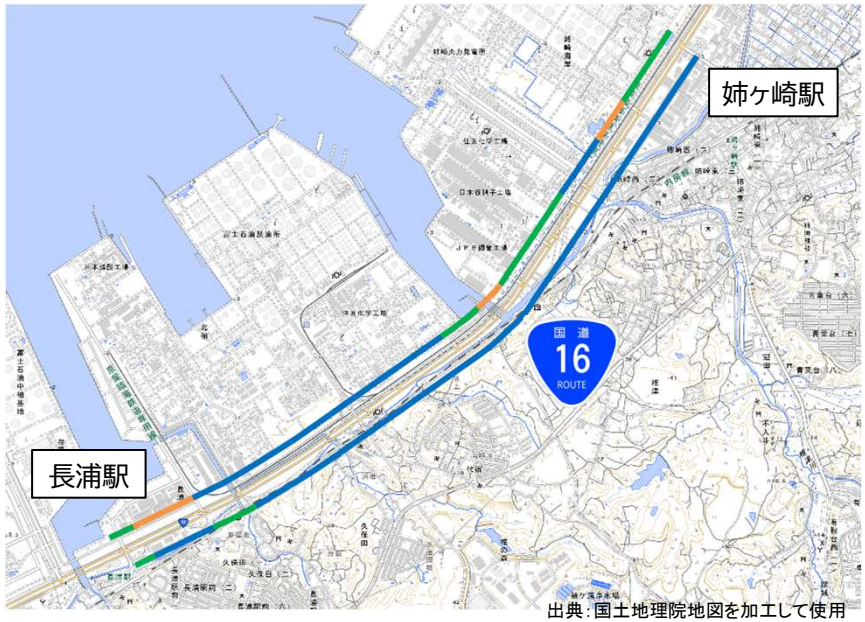


国道16号（姉ヶ崎駅～長浦駅間）の所要時間比較

国土交通省
関東地方整備局

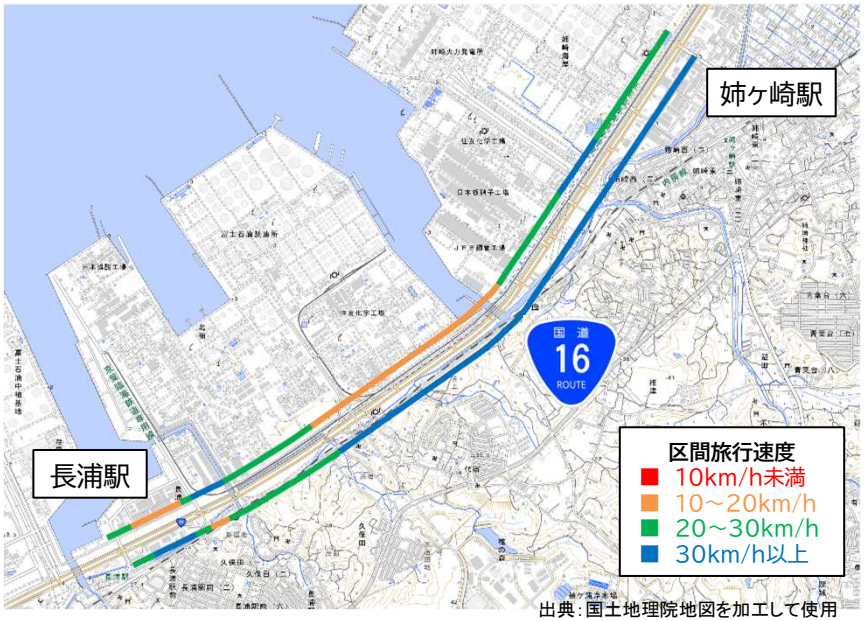
11月10日時点

旅行速度図【9/17(木)7時台】



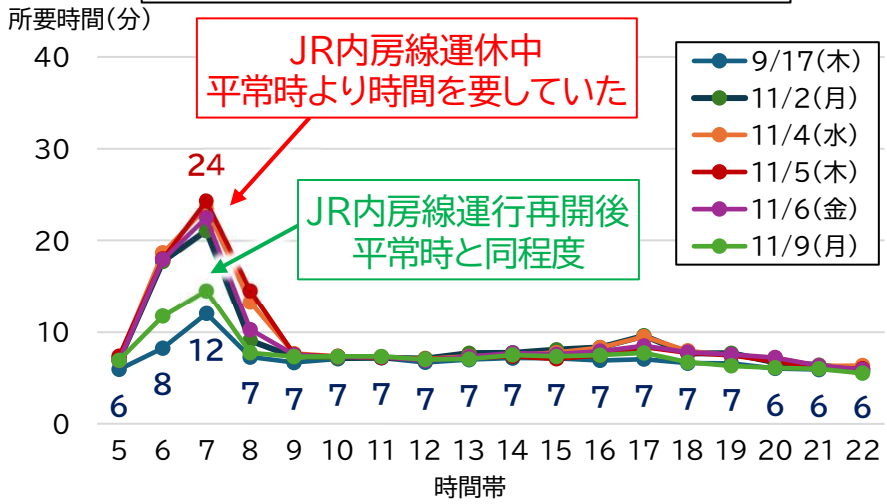
出典：国土地理院地図を加工して使用

旅行速度図【11/9(月)7時台】

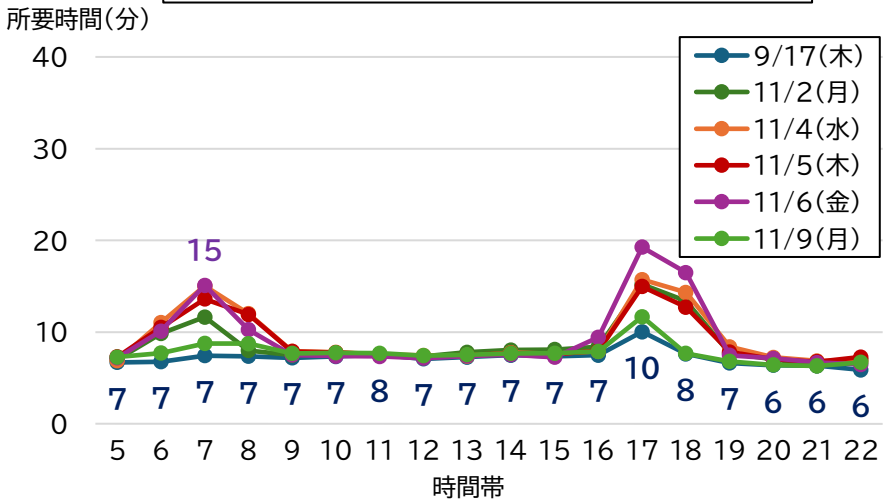


出典：国土地理院地図を加工して使用

長浦駅付近⇒姉ヶ崎駅付近(国道16号上り)



姉ヶ崎駅付近⇒長浦駅付近(国道16号下り)



(データ)ETC2.0プローブデータ

姉ケ崎・長浦間におけるシェアサイクルについて

鉄道運休中の移動を支える自転車による代替交通の実証の取組

実施　関東地方整備局千葉国道事務所
JR・千葉県・市原市・袖ケ浦市

協力　OpenStreet(株)
シナネンモビリティPLUS(株)

10月14日　**10月16日**　**11月9日**

230台で運用開始 ⇒ 300台へ拡大 ⇒ 運用終了

姉ケ崎ポート100台、長浦ポート130台

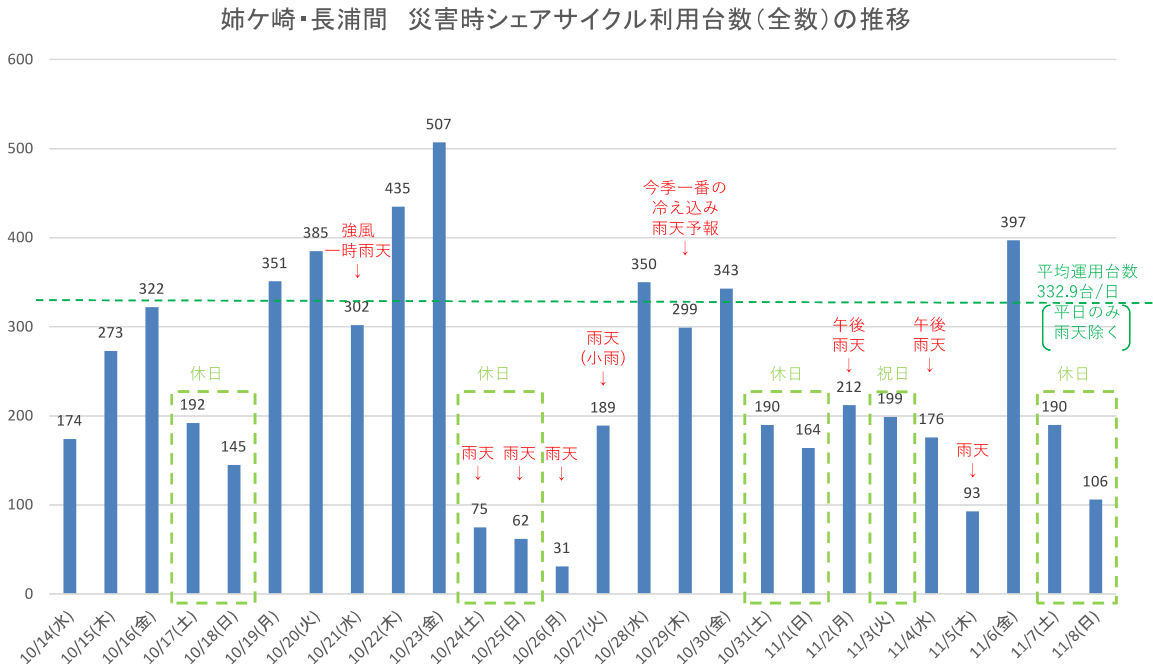


地図：国土地理院淡色地図／緑線：想定ルート（概略）　※徒歩・走行時間は概算。

利用台数の推移

平日の運用台数は順調に増加、延べ約6,160台の利用

運用当初：174台／日 ⇒ 最大利用台数：507台／日(10/22)
平均運用台数：228.2台／日(期間内全日) 332.9台／日(平日のみ・雨天除く)



利用方法・料金

HELLO CYCLINGアプリで会員登録・予約・貸出・返却
実証ステーション間は無料
（姉ケ崎・長浦間は無料。一定時間を超える場合は有料）
利用方法・条件は利用案内で確認

安全・運用・検証

国道16号の歩道は自転車歩行者道（歩行者優先・自転車通行可能）
ヘルメット着用、歩行者優先、信号・一時停止の遵守
車両の偏りに応じた回送、充電・点検を実施
利用実績・所要時間・満車や不足等を把握

利用状況、利用促進の取り組み

通勤通学での利用

利用者のピークは朝夕
通勤・通学利用が多い





安全通行・交通ルール順守

走行環境の整備
ヘルメットの貸出





鉄道利用者への周知

姉ケ崎・長浦駅での掲示
県・両市職員による周知





利用者アンケート結果（速報値）

96.0%

利用者のほぼ全員が
「代替移動手段として役立った」と回答

非常に役立った 65.1%（175名）
＋ ある程度役立った 30.9%（83名）
［N=269］

ハローサイクリング会員登録状況

今回を機に新規登録	63.9%（172名）
以前から登録していた	36.1%（97名）

普段の自転車利用頻度

「ほとんど利用しない」層が最多（40%）

非日常時の代替手段として新規層が積極的に活用



年齢層分布（働き盛り世代が中心）

40代	25.3%（68名）
30代	22.3%（60名）
50代	20.8%（56名）
20代	16.4%（44名）
10代・60代以上	15.2%（41名）

主な利用目的

通勤	52.8%（142名）
私用（買い物・通院など）	17.8%（48名）
通学	16.4%（44名）
仕事・業務	7.4%（20名）

シェアサイクルがなかった場合の移動手段

代行バスを利用していた	69.5%（187名）
移動を取りやめていた	7.1%（19名）
家族等による送迎	5.2%（14名）
自家用車・徒歩等	18.2%（49名）

利用してよかった点（複数回答）

代行バスを待たずに済んだ	183票（68.0%）
自分の都合に合わせて移動できた	166票（61.7%）
道路の渋滞を避けられた	164票（61.0%）
移動手段の選択肢が増えた	159票（59.1%）
健康増進・移動時間短縮	115票（42.8%）/ 105票（39.0%）

アンケート実施期間

令和8年11月4日～15日

実施方法

HelloCyclingアプリおよび
登録アドレスへの配信による
webアンケート

速報値概要

- サンプル数：269名［11/5時点］
  （男性：210名、女性：57名、不明：2名）
- 居住地
  市原市内：38名、袖ケ浦市内：79名
  千葉市以北：23名、木更津市以南：64名
  その他県内：47名、県外：18名

利用者アンケート結果（速報値）・今後の展開

鉄道運休時のシェアサイクル配備に対する賛否

配備賛同率

95.2%

256名 / 269名

積極的に実施してほしい

68.8% (185名)

実施した方がよい

26.4% (71名)

どちらともいえない

4.1% (11名)

あまり必要ない

0.7% (2名)

災害時運用で求められる工夫・改善項目

最優先要望
利用料金の無料化
153票 (56.9%)

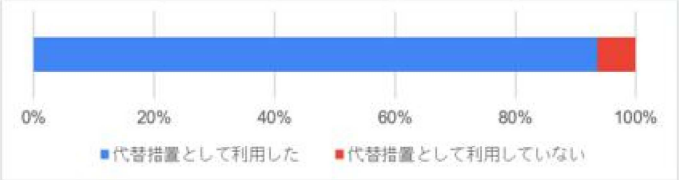
アクセス改善
駅近へのポート設置
150票 (55.8%)

ネットワーク拡大
貸出・返却場所増設
127票 (47.2%)

走行安全性
安全ルートの案内
121票 (45.0%)

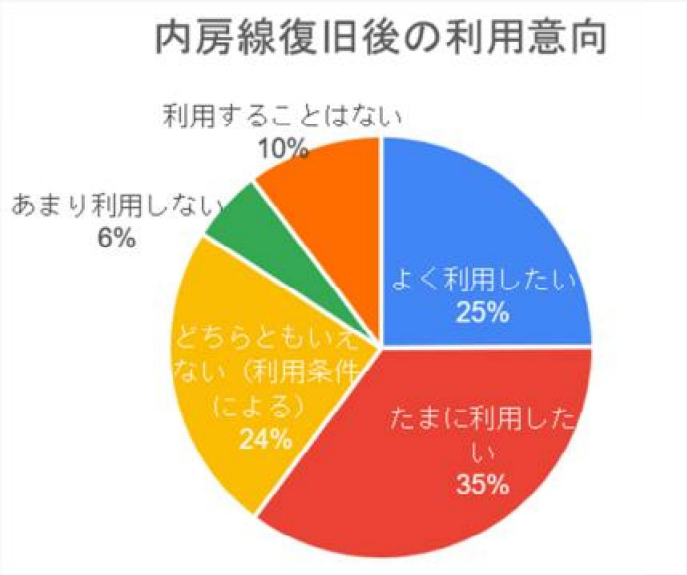
代替措置以外の利用

概ね、JR内房線の代替手段として利用
一部、周辺企業への通勤等で利用

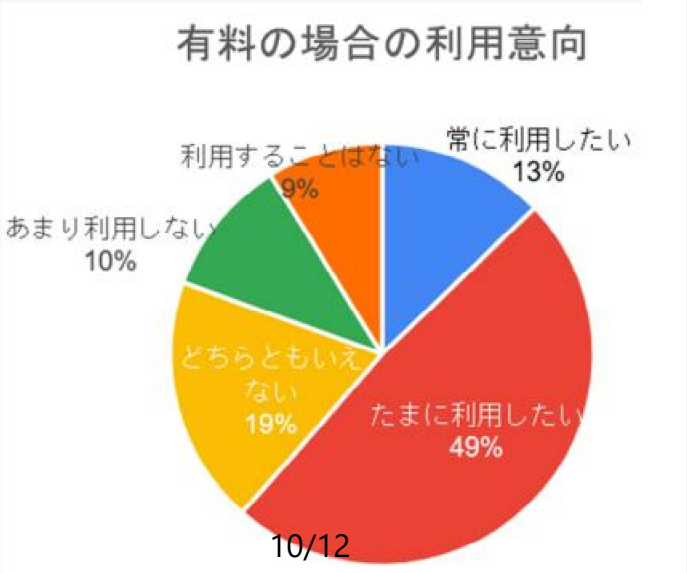


鉄道復旧後の平時利用および有料利用意向

利用意欲あり：計 60%



有料でも利用意向：計 62%



良かった点、今後の期待（自由記述）

災害時の迅速な対応と移動手段の確保を評価

- 発災から間もない迅速なご対応ありがとうございました。時間が読めるシェアサイクルには大変助かりました。
- 帰宅時間の関係上、代行バスがない時間に姉ヶ崎駅に帰ってきた時に、シェアサイクルのお陰で長浦まで帰れたのはすごくありがたかったです
- 今回のように振替輸送が困難な地域には有効な取り組みと感じた。
- 混雑する代行バスと異なり自分のペースで移動出来る、選択肢があるのが嬉しかった。
- 災害対応として非常に役に立ちました。代替措置があることは心理的にはかなり安心します。事業性という観点からは通年は難しいのかもしれませんが、緊急時はありがたいです

利用環境・サービス改善への要望

- 夜の帰宅時間帯に利用することが多かったのですが、非常に道が暗く走行に不安がありました。自転車付属のライトだけでは明るさが不十分で、安全に走行出来ないと感じました。
- 駅から少し離れていたので、もう少し近場があれば良かった。
- 道の案内が不十分。残り何メートルなどの表示が欲しい。
- 使い方やエラーの対処法が分かりやすいとよいと考えた。
- 初めて利用する人間にとってはやり方が難しかった。場所案内以外にもアプリに関する利用方法をツイッターなどで出すべきだと思った。

シェアサイクルの常設化・エリア拡大への期待

- 路線バスの本数が少ないため、市内に配置してほしい。
- 木更津市内など利用できる場所が増えると助かります。
- 今後は駅・バスターミナルなどにも配置し、羽田空港行きの始発バスといったものにも、多方面から乗れるチャンスができればと思います。
- これからは、蘇我駅以南にも、シェアサイクルを設置していただけると嬉しいです。
- 市原市と袖ケ浦市は駅からの交通手段が乏しいためぜひシェアサイクルの設置をお願いいたします。
- 路線バスの減便が続き、地元での短距離移動がだんだんと不便になっていくのを目の当たりにしているので、新たな移動手段として自転車が整備されれば非常にありがたく思います。

災害時のシェアサイクル利用の有効性が確認された。

代替手段以外の利用もあり、常設化を期待する意見も散見。

今後、平時のシェアサイクル導入に向けて、議論が活発化。

国道127号元名(もとな)区間の通行止め

国土交通省
関東地方整備局

〇台風第25号に伴う豪雨により、国道127号 元名区間(延長約1.5km)において斜面崩壊が発生し、通行止めを実施。
〇9月23日(水)0時から、並行する富津館山道路の富津竹岡 ICから鋸南保田IC間において、無料通行措置を実施。
〇引き続き、代替路等への案内や周辺道路の交通状況について、関係機関と連携した情報提供を実施。

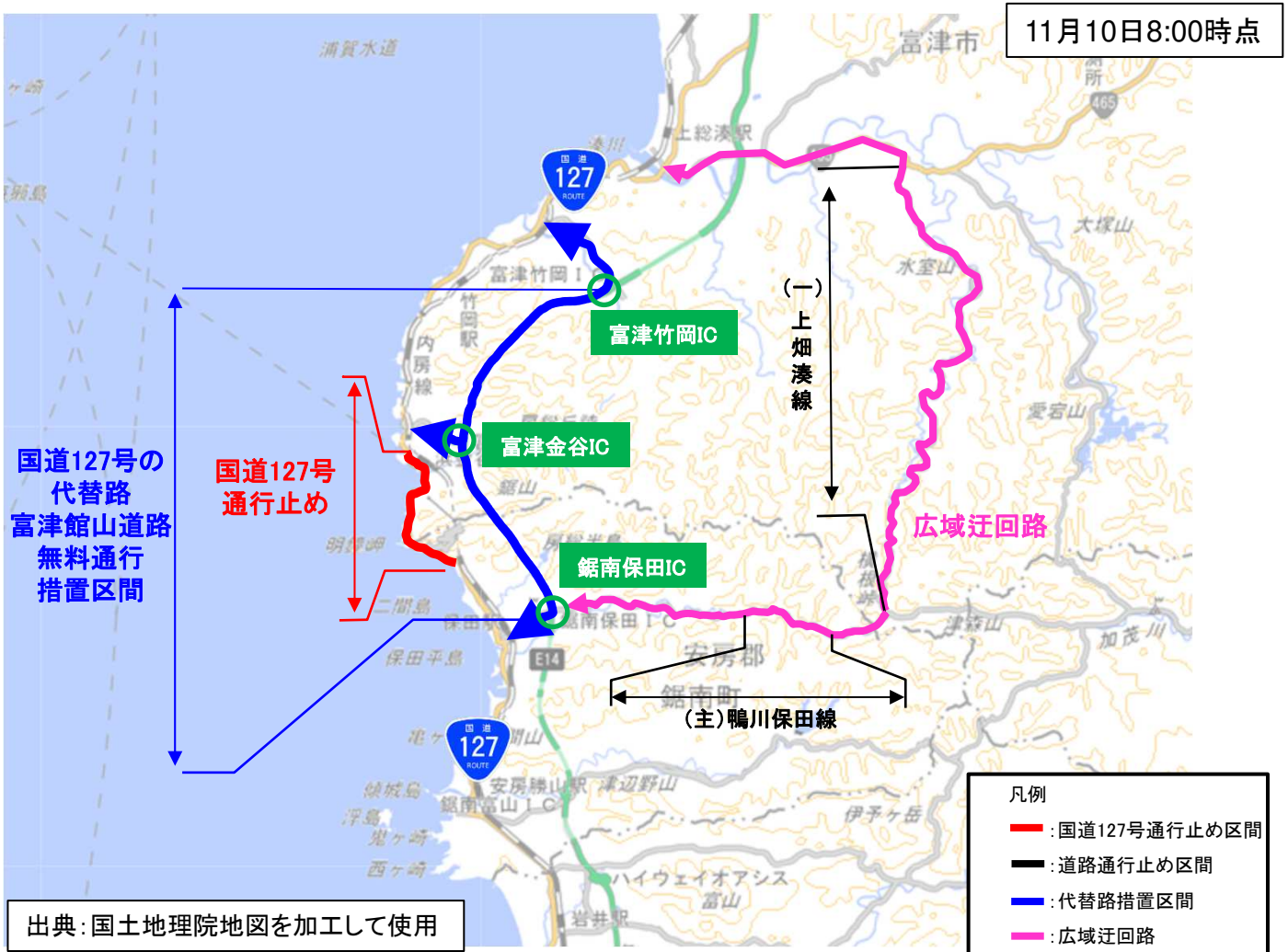


被災状況



復旧状況





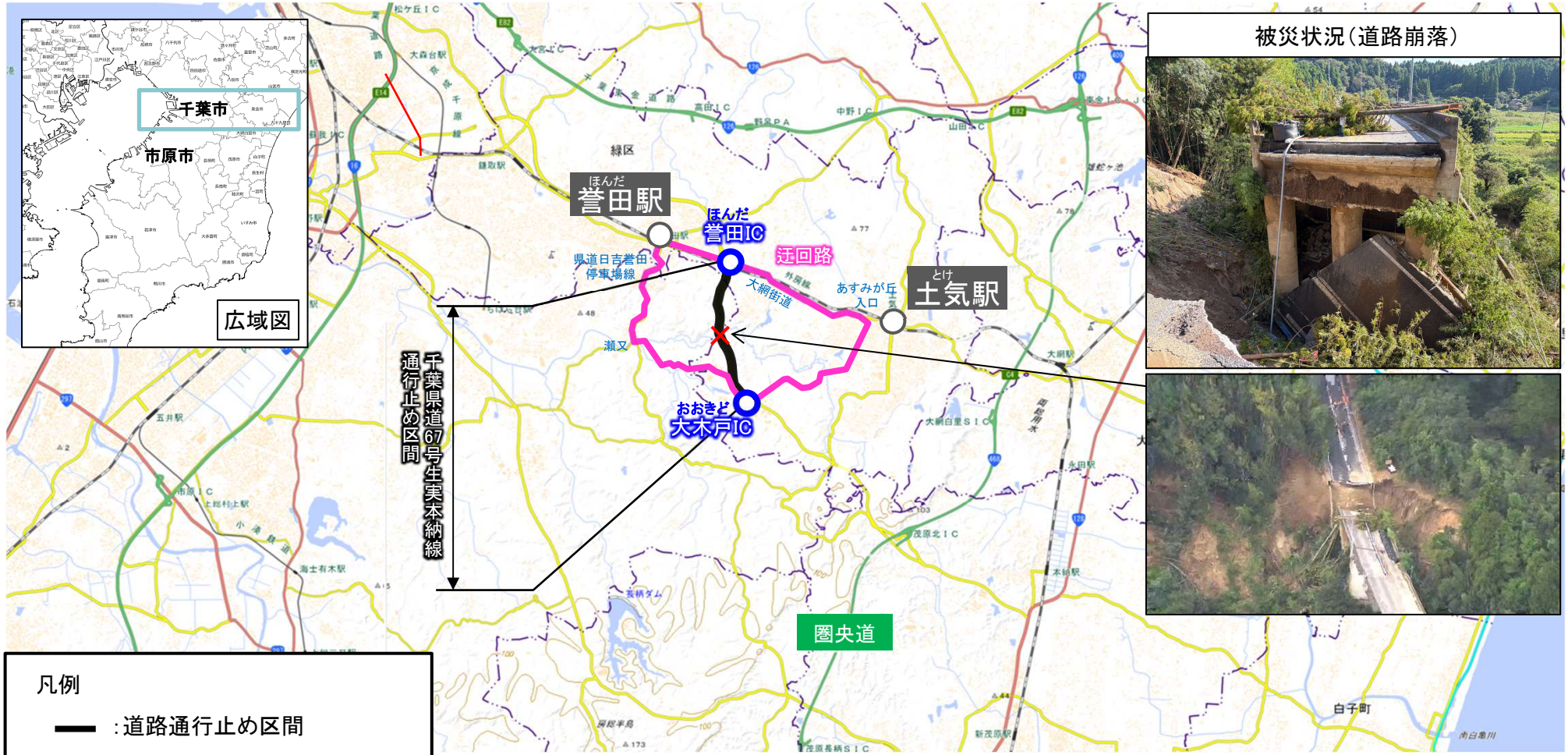
出典:国土地理院地図を加工して使用

県道67号生実本納線（誉田IC～大木戸IC）の通行止め

国土交通省
関東地方整備局

〇台風第25号に伴う豪雨により、県道67号生実本納線（誉田IC～大木戸IC）において道路崩落等が発生し、通行止めを実施。
〇迂回路への案内や周辺の交通状況について、関係機関と連携して情報提供を実施。

11月10日8:00時点



被災状況（道路崩落）

出典：国土地理院地図を加工して使用